

天台佛青連



発行元 / 天台仏教青年連盟
 編集 / 布教広報委員会
 発行所 / 〒509-5401 岐阜県土岐市駄知町 1564-20 瑞雲寺内
 印刷所 / 〒960-2101 福島県福島市さくら三丁目 2-7 福島カラー印刷株式会社
 郵便振替 / 天台仏教青年連盟 02250-5-6765

題字 / 第257世天台座主
 森川 宏映 祝下

令和4年
 2月28日
 発行

index

| | |
|--------------------------|-----|
| 代表 挨拶 | 1 |
| 天台宗宗務総長 御挨拶 | 2 |
| 延暦寺執行 御挨拶 | 2 |
| 令和三年八月豪雨におけるボランティア活動について | 3 |
| 南総教区仏教青年会結成五十周年記念法要を開催して | 3 |
| 天台仏教青年連盟オンライン事業報告 | 4~5 |

《特集》

| | |
|---|-------|
| 天台仏教青年連盟50周年記念シリーズ④ 創立50周年記念全国大会中央結集 | 6~7 |
| 第五十六回 天台青少年比叡山の集い | 8~9 |
| インフォメーション | 9 |
| 協賛金協力者御芳名 | 10~11 |
| 常任委員会委員長報告 | 12 |

公式ホームページ

(新HP)<https://www.tendai-bussei.com/>
 (旧HP)<https://www.t-y-b-a.com/>

天台仏教青年連盟 検索

天台仏教青年連盟ホームページ
 リニューアルのお知らせ



連盟公式ホームページが新しくなりました！現在は旧ホームページより移行作業中ですが、連盟創立50周年記念中央結集の記事なども掲載しています。会報誌『天台佛青連』の最新号とバックナンバーも閲覧いただけます。



また、SNSではFacebook・instagramに加え、LINE公式アカウントでの情報発信も始めましたので、併せてご活用ください。



天台仏教青年連盟公式Facebook・instagram・LINE公式アカウントでは、連盟の活動をより多くの方々に知っていただけるようにリアルタイムに分かりやすくお伝えしています。閲覧・フォローをどうぞよろしくお願い致します！

情報通信委員会

天台仏教青年連盟の会報発行にあたりご挨拶申し上げます。平素より一宗を始め延暦寺一山御寺院及び全国の天台宗御寺院、並びに各教区仏青会員各位には天台仏教青年連盟の活動に對しまして格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。本年度は、昨年度延期しておりました『天台仏教青年連盟創立五十周年記念全国大会中央結集』を開催致しました。開催に際

新しい途の探求

天台仏教青年連盟
 代表(九州西) 角本 尚隆



しまして、ご理解ご協力戴きました皆様には重ねて御礼申し上げます。今回の結集ではコロナ禍という事もあり、宿泊はせず事前に講演の部をオンラインで開催し、後日法要を延暦寺西塔峰道伝教大師像御宝前にて厳修致しました。初めての開催方法でしたが、会員一同協力のもと新しい結集を厳修することができました。



このように、現在世界中で今までと形を変えた、新しい取り組みが進められています。私たち青年僧も、この変革を迎えた現代社会に取り残されることな

く、新しい途を探求していく事が重要だと考えております。五年前約九百名在籍しておりました会員が、現在約七百名と減少の一途をたどっております。過疎化の進む地方では、仏青の存続が危ぶまれる教区も出てきております。当会としては、近隣教区会員同士が連携し合い、互いに協力し合える環境作りができればと考えております。これまでの縦の繋がりと等しく、横の繋がりを太く長くできるよう、相互連絡手段の構築、情報共有など様々な点で、これまでの経験を活かしていければと思います。各仏青の活動も、連盟を通して全国の仏青会員を視野に入れた大きな広がりを目指します。

また、女性会員が活躍できる場を創る事にも取り組むたいと考えております。現在教区仏青で会長・代議員・事務局長に女性はいません。しかし、会員名簿に目を通すと少なからず女性会員が各地に在籍しております。今後女性の声も積極的に取り入れられるような機会を創り、女性も参加しやすい環境・研修を創造したいと思っております。新しい試みでは当然迷いも生じます。進む途を間違えないよう、「我が志を述べよ」のお言葉を胸に新しい途の探求に取り組みんでいきます。会員各位はもとより、宗内諸大徳、諸先輩方にもご迷惑をお掛けすることがあるかと思いますが、なにとぞご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



合掌



御挨拶

天台宗宗務総長
阿部 昌宏

天台宗において令和三年は伝教大師大遠忌御祥当の特別な年でありましたが、コロナ禍での諸事業に苦慮した一年となりました。仏青連盟の皆さんは「温故知新」で結成五十周年に臨まれ、一年延期となった中央結集はオンライン活用での記念講演と延暦寺峰道での記念法要に日程を分け、無事に円成されました。角本連盟代表のもと新たな五十年への第一歩が刻まれましたことお慶び申し上げます。

昨年末には、第二百五十七世天台座主森川宏映猊下がご遷化なされ、延暦寺密葬及び天台宗本葬が厳かに執行されました。森川猊下におかれては、天台本覚思想の「草木国土悉皆成仏」を信念に生涯を貫かれ、環境破壊への強い危機感を示されました。世界宗教者平和会議では「世界平和」実現に向け、ローマ教皇聖下共々に行動力を発揮され、コロナパンデミックの最中に

は、宗祖伝教大師の「忘己利他」の精神で日々の生活を過ごすようご教導下さいました。新たに上任されました第二百五十八世天台座主大樹孝啓猊下のご教導のもと、私たち宗徒は一丸となって天台宗の存在意義を示していきたいねばなりません。

高齢化・少子化による人口減少、地方の過疎化、信仰形態の多様化など、寺院を取りまく社会環境が厳しさを増しています。また、ウィズコロナ・アフターコロナにおける宗教者の役割も問われています。顧みると東日本大震災発生時、青年僧侶の絶大なるボランティア活動を通じて宗教者としての役割が再確認され、その熱意によって天台宗防災士協議会が誕生いたしました。僧侶にとって教化活動が重要となるこれからの時代、仏青諸君の新鮮な思考力と勇気ある実践力に期待いたします。



御挨拶

延暦寺執行
水尾 寂芳

新年令和四年を迎えました。本年が、天台仏教青年連盟会員の皆さまにとって、一層のご活躍の年でありますことを心からお祈り申し上げます。また併せて、平素よりの皆さまの本山護持へのご協力、ご芳情に対して厚く御礼申し上げます。

昨年の連盟の創立五十周年中央結集開催については、コロナ感染症のため一年延期の上、講演の部、法要の部に分けての開催など皆さんのご苦勞によって、それぞれ無事開催されたことご同慶のいたりと存じます。

振り返りますと、この二年間のコロナ禍によって、人の集まりや繋がりが、交流が様々な制限、縮小されることとなりました。その一方で、新しい方法で人と人が繋がっていくことも経験するようになりました。オンラインでの交流、そこではマスク越しの違和感がなく、逆に新鮮な感じさえします。通信技術の革新は距離と時間を簡単に超えて新たな交流を可能としました。しかしまた一方で、そ

の技術の革新の恩恵に預かる人と無縁のままに過ごしている人との格差も生まれているのではないかと危惧されます。社会の中で、孤立することなく、そして孤立させることなく、積極的に交流の手を伸ばし、繋がっていくことが今以上に大切になってきていると思われれます。

コロナ禍の中、迎えた宗祖の大遠忌、お大師さまから様々な課題が与えられているように感じられます。仏青の皆さまの進取の力を期待しつつ、共にこの時代の課題に取り組んでいきたいと思えます。どうか宜しく願います。

新しい年、令和四年はどのような年となるのでしょうか。天台宗では大法会期間を一年延長して、令和四年度いっぱい大遠忌報恩の期間としています。五十年に一度の大遠忌の報恩の参拝と共に、六十年ぶりの総本堂根本中堂の大改修の様子も見届けて頂きたいと念じております。皆さまのご活躍のお姿をお山で拝見できることを祈っております。

令和三年八月豪雨におけるボランティア活動について

九州西仏青 事務局長 甘井 良憲

平素より九州西教区の活動に御協力御支援賜り、誠にありがとうございます。

さて、令和三年八月十一日より降り始めた雨は、各地で八月の月降水量平年値の数倍となり多くの災害を発生させました。九州西教区内の寺院でもいくつかの被害がある中、特に柳川部清水寺様が甚大な被害を受けました。

教区では今回の豪雨に対して、災害対策本部を立ち上げ、天台寺院の救援、被災地区への支援を行っております。具体的には、清水寺様へは土砂撤去の作業を行い、被害地域へは社会福祉協議会、ボランティア団体への支援金・支援物資の送付を行っております。

清水寺様の救援には八月三十日に二十三名が参加し、境内地各所の土砂除去・参道整備・石像安置・清掃などを致しました。

また、左記各種団体に向けて支援金や支援物資をお送りし続けております。

●武雄市・大町地区にて活動されている「一般社団法人おも



やい」様
●熊本を中心に活動していらつしやる「一般社団法人よか隊 ネット熊本」様
これらの活動は言うまでもなく、全国の皆さまからの多大なる御支援のお陰でございます。本当にありがとうございます。しかしながら、まだまだ支援が必要な状況です。今後ともお力添え頂けます様お願い申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

南総教区仏教青年会結成五十周年記念法要を開催して

南総仏青 会長 秋山 秀田

令和三年九月二十七日、第四部般若寺において、南総教区仏教青年会結成五十周年を記念して慶讃法要を執り行いました。

本来であれば、教区内からご来賓をご招待して仏青会員全員で出仕するべきところですが、新型コロナウイルスの感染防止を考慮して役員九名のみの方となりしました。

南総仏青五十年の長い時間を思うと、大勢の先輩方が様々な取り組みをされてこられたこと、多くの方々を支えられてきたことを、今更ながら気づくというか、改めて発見する思いです。また、この五十年だけでも



世界はたびたび大きな転換点を迎え、日本社会も変化してきました。その移り変わる社会の中で天台青年僧は活動を継続して、その法灯がいま私たちの世に託されています。

現在のコロナ禍にあっても仏青が出来る活動を、地道に、淡々と、粘り強く取り組んでいけばそれが道になるから大丈夫だ、という安心感が不思議と湧いてくるのです。

無理せず慎重に、そして仏青同士の融和を大事にして、南総仏青を次の五十年後につなげてゆきたい。今回の法要でそれを強く思いました。

天台宗専門法文司

山科大西法文店

〒607-8357

京都市山科区西野樋川町45-21

電話 (075) 591-9159
FAX (075) 502-5418
020 0120-568-024

木版手摺本

- ・法華経 大形 全八巻 帙入
- ・佛母準提尊供私記 豪潮閣梨著述
- ・九重御守 伝教大師御作諸陀羅尼御守
- ・準提懺摩法
- ・九条袈裟(摺袈裟)

黄葉鉄眼版 有限 貝葉書院
大般若経版元 会社
〒604-0912 京都市中京区二条通木屋町西入
TEL 075-231-0919 FAX 075-223-5829
http://www.baiyousho.in.com

社寺建築設計施工

株式会社 大幸社寺工務店



埼玉営業所 埼玉県川口市東本郷1-9-4
電話 048-452-4062 FAX 048-452-4063
本社 東京都足立区藤2-22-4
電話 03-3896-3531 FAX 03-5647-8077

天台仏教青年連盟オンライン事業報告

今出来る最善を模索し実行する



中央結集【講演の部】では多くの方にご参加いただきました。詳細は6ページ(写真右上)。代議員は4つの委員会に分かれ役割を担います。常任委員会の引継ぎの様子(写真右下)。代議員会や中央結集では阿部宗務総長(写真左上)、柴田社会部長(写真左下)よりご挨拶を頂戴いたしました。

宗祖伝教大師の御勝縁の年であるにもかかわらず、感染状況に右往左往し大規模な対面行事は諦めざるを得ず、オンラインを駆使しながら出来る限り従来の活動を行えるように努めてまいりました。お陰様で日頃の役員会をはじめ、代議員会、常任委員会、研修会と多岐にわたり開催することが出来ましたので、その一部を当紙面にてご紹介させていただきます。

オンラインの長所は何と云っても集まりやすいことで、全国津々浦々環境の異なる会員が参加するには大変便利な方法と改めて認識いたしました。感染状況が落ち着くことを願ってやみませんが、今後様々な方法を用いて多くの会員の皆さまが参加しやすい環境づくりに励みたいのです。

とは申し上げながらも、教区の垣根を超えての対面交流が待ち遠しいところです。



講師：東京教区 圓融寺住職 阿純章師



第一回オンライン研修会開催
 『with止観』時代の新しい生活様式』に参加して
 滋賀仏青 会長 瀧本浩慈

新型コロナウイルス感染症の猛威により、対面での活動が難しい状況が続く中、天台佛青連盟ではパソコン等情報機器を利用したオンライン研修会を実施することとなった。

第一回目のオンライン研修会は九月十日(金)に『with止観』時代の新しい生活様式』と題し、東京教区圓融寺御住職・阿純章師より講義いただいた。我(エゴ)ベースの世界観から円の世界観へのパラダイムシフト、多様性の中にある本当の調和と世界の実現、止観によるいのちの原点回帰、止観が手放せない時代となる事を分かり易い例を用い丁寧に講義いただいた。

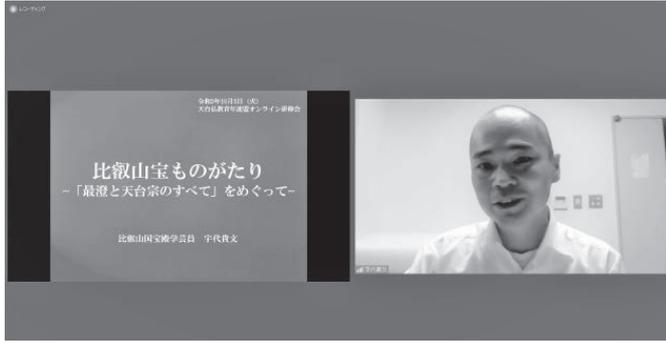
平日昼間の開催であったが八十名程の参加申込もあり、非常に有意義な研修会となった。

第二回オンライン研修会開催

比叡山宝ものがたり
「最澄と天台宗のすべて」を
めぐって〜に参加して

群馬仏青 事務局長 小川晃龍

今回の研修では、比叡山国宝殿学芸員の宇代貴文師の貴重なお話を拝聴し、大変有意義な学びの機会となりました。特に「勅封の唐櫃」に関しては、これまでその具体的な中身や由緒について詳しく存じ上げなかったため、非常に興味深く感じました。これを機会に、延暦寺と天台



講師：比叡山国宝殿学芸員 宇代貴文（阿海）師



宗の豊かな歴史と文化に思いを致し、今に残る貴重な文物から、先人たちのご信心とその営みをあらためて学ばせていただきました。と思っています。
そして、檀信徒様や一般社会の方々にも、そうした天台文化の魅力の一端をお伝え申し上げ、ひいてはその源流である伝教大師最澄様の御精神と積尊の御教えに親しんでいただくきっかけとなれば幸いです。

栃木仏青主催
オンライン研修会開催

栃木仏青 会長 村田詔田

令和三年七月一日（木）に栃木教区宗務所を配信所としてオンラインの研修会を開催しました。天台仏青連盟を通して、全国各教区仏青に参加を募り、当日は十四教区八十八名の仏青会員・賛助会員にご参加いただきました。

講義内容としては第一講義に臨床仏教師である群馬教区眞木興遼師をお招きし、『臨床仏教における《命のケア》』という演題で僧侶として様々な「いのちの苦しみ」に対してどのように向き合い、寄り添うべきか実体験を元にご講義いただきました。

第二講義では東京教区大正大学非常勤講師宮部亮佑師をお招きし、『天台教学の魅力〜八万四千の法門から探る〜』という演題で、天台教学の強み・長所・魅力を中心に講義いただきました。

コロナ禍で様々な活動の自粛が求められる昨今、当会は日々悲観するばかりでなく、研修会におけるオンラインの活用と各教区仏青単位の研修会のシェアを提案させていただきます。

全国各教区仏青の研修会に自坊にいながら、参加・シェアが可能となれば、仏青会員の更なる自己研鑽につながると信じています。

逆境の時代だからこそ天台一家の精神のもとに皆で研鑽と親睦を深めていきたいと強く願っています。

第3回オンライン研修会

演題 日本天台浄土教の
基本理念



講師：信越教区 善光寺一山尊勝院
住職 柳澤正志 師



文化財修復・社寺建築

木澤工務店

本社 〒606-8414
京都市左京区浄土寺真如町111番地-1
TEL (075) 751-0628 FAX (075) 752-9430
営業所 〒529-1314
工場 滋賀県愛知郡愛荘町中宿173番地
TEL (0749) 42-2859 FAX (0749) 42-5727

誠実と真気で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製

天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009 (代) FAX 0120-34-2996

沈香 白檀 各種焼香 本舗

法要・行事等 記念品「香」受け賜ります

総本山 延暦寺御用達

風間薫芳堂

〒607-8454
京都市山科区厨子奥苗代元町21-8
電話 075-591-0121 FAX 075-581-5760

念全国大会中央結集



法要の部

茨城仏青 代議員 永田 照心

令和三年度天台仏教青年連盟創立五十周年記念全国結集【法要の部】に参加をさせていただきました。

本年度の全国結集は、新型コロナウイルス禍により開催方法が変更になり、十月二十六日にオンラインで行なった【講演の部】、今回十一月十一日の【法要の部】の二部制となり【法要の部】においても感染予防のために各教区仏青二名の代表者出仕という形で開催となりました。

そのような中ではありますが、伝教大師一千二百年大遠忌の年に五十名を超える青年僧が、オンラインではなく対面して峰道伝教大師御尊像前で、連盟創立五十周年法要が行うことができたことは、大変うれしいことではないかと思います。

これを機に新型コロナが早期収束し、例年のように開催できる方向に進んでいってほしいと思います。

講演の部

四国仏青 事務局長 柴 賢心

令和三年度天台仏教青年連盟創立五十周年記念全国結集「講演の部」に参加をさせていただきました。

昨今の新型コロナウイルス感染予防のため講演はオンラインにて開催される事となり私含め四国教区からは三名の参加がありました。

講演は、まず戒壇院特別拝観の説明から始まりました。後日、戒壇院には私も行って見たのですがとても素晴らしいものでした。

それから講師として大正大学特任准教授、東京教区如意輪寺住職・木内堯大師より『伝教大師一千二百年大遠忌・私たちは伝教大師のお志をいかに伝えるのか』と題し講義をして頂きました。

伝教大師の御遺言における「我が志を述べよ」についての「志」とはどのようなものなのかのお話がありました。

伝教大師の「志」とは、お釈迦様から授かる大乘戒と、天台の教えである法華経によって、菩薩僧を育て一乗の教えを伝えていくという事になります。今回の講演ではこの「志」をどう伝えて行けば良いのかを教えてくださいました。

昨今のコロナ事情によっていわゆる密を避けたオンラインでの会議、講義といったものが増えてきました。移動が必要ないなど便利な部分もあるのですがやはり顔を合わせながらの会が出来るとなると嬉しいと思いました。



木内堯大

講師：大正大学特任准教授
東京教区 如意輪寺
住職 木内 堯大師

我が為に仏を作る勿れ、
我が為に経を写す勿れ。
我が志を述べよ。



絹本着色聖徳太子及び天台高僧像十幅
平安時代、十一世紀後半頃の作 兵庫 一乗寺



講義の始まりには、伝教大師最澄一千二百年大遠忌の特別事業として御開帳された戒壇院を、オンライン上ではありましたが参拝することが出来ました。



令和3年度



連盟創立50周年記



法要の部

本山仏青 事務局長 河合 智信

この度は天台仏教青年連盟創立五十周年記念中央結集法要に際し、コロナ禍の大変厳しい社会状況の中、御登叡の上、ご出仕賜り誠に有難うございました。

本年の結集は事前にオンラインでの講演日を設け、日を改めて比叡山において開催するという例年には無い形ではありましたが、天台仏教青年連盟代表角本尚隆様をはじめ役員皆様のご尽力により開催することが出来ました。

結集法要において、私が一番心に残ったことは開会式の際に初代連盟代表の妙法院御門主杉谷義純様のご挨拶で、仏青創立当時のお話と共に、「青年僧らしい行動をして互いに助け合う」とお言葉を頂戴致し感銘を受けました。改めて私たち若い世代に出来ることを今まで以上に考え、行動していかねばならないと思いました。

法要は、西塔峰道の伝教大師尊像前で連盟代表を調声に法華三昧を厳修致しました。当日は少し肌寒い日ではありましたが出仕者全員でお祖師様へ心を込めご供養が出来たと思います。

暫く続くであろうコロナ禍の日々。社会から私たち仏教者に期待されていることは多いと思います。会員一同、一隅を照らす志を高く持ち、能く行い能く言う僧侶でありたいと思います。



第五十六回

天台青少年比叡山の集い

実行委員長 (北総) 梅宮亮寛

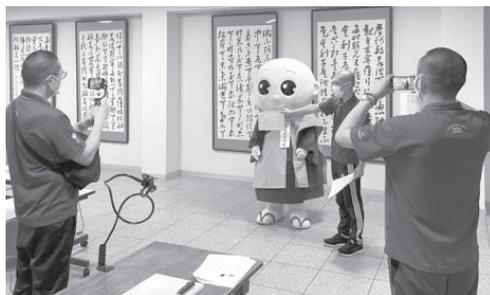


令和三年度、「第五十六回天台青少年比叡山の集い」は研修動画配信という開催史上初となる形で行なわせていただきました。皆様ご覧いただけましたでしょうか？

研修動画の内容は全て出演しているリーダー達が企画、撮影、編集をしております。青少年の期間中に基本となる「勤行」「坐禅止観」「食事作法」を自宅でも実践できるように解説した動画となります。「勤行」では、お勤め時の姿勢の説明や、動画を再生するだけで『般若心経』の読経ができるように工夫しました。「坐禅止観」では、坐禅指導はもろろんのこと【日常生活に追われながらも実践できる坐禅止観】という切り口で触れやすくしました。「食事作法」では、食前観・食後観、洗鉢の仕方に加え、精進料理により親しんでいただけるよう、分かりやすいレシピも公開しました。また、画像集も制作し、写真を見ながら日程を追いつつ、これまでの歩みを振り返り、「天台青少年比叡山の集い」を感じていただける内容となっております。

動画作成の経験など全くないリーダー達が、ご覧いただく方々、特にこれから参加するリーダーや研修生が初めて観た時でも分かりやすいように丁寧に作り上げました。例年の青少年第一日目にあたる八月三日から動画配信を開始し、これまでも多くの方々からご好評いただいております。

さて、もう一度：今度はリーダーに視点を置いて動画をご覧いただければと思います。動画を作成し、出演している



| | | |
|---|---|---|
| <p>天台宗務庁御特命 三諦章袈裟専織所</p> <p>山寺庁連 本膳務用 総延宗御</p> <h2>森忠法衣店</h2> <p>五代目 森 忠兵衛</p> <p>〒604-0842 京都市中京区押小路通烏丸東入 電話 075-231-1203番 FAX 075-255-7020番</p> | <p>神社・仏閣用授与品・タオル・風呂敷 ふくさ・進物品・お誂え全般 卸</p> <h2>有限会社 ヤマゼン</h2> <p>〒541-0056 大阪府中央区久太郎町3-1-15 ユーアイビルディング6F</p> <p>TEL 06-6251-0551 FAX 06-6251-0552</p> | <p>最期の、ありがとう。</p> <p>葬儀 会館 TEAR ティア</p> <p>本社 〒462-0841 愛知県名古屋市中区黒川本通三丁目 35 番地 1 (ティア黒川 4F)</p> <p>TEL. 052-918-8200 FAX. 052-918-8600</p> |
|---|---|---|



のは青少年の実行委員を中心としたメンバーで、皆五年以上参加しており、黙っていても研修生の笑顔のために一年中青少年のことを考えている熱い魂を持つたリーダー達です。ただ最初からその魂を持って参加していたかといえばそうとも限りません。仏青の年齢順や先輩に誘

われてなどの理由で参加し、一年で辞めるつもりでいたというリーダーも多くいます。それでも青少年の意義や、先輩方の想いを知り、二年、三年と続けていくうちに、沢山のことを学ばせていただいていることに気づいていきます。

そして、何よりリーダーとしての最大の魅力は『人との出会い』です。全国から集まる教区も年齢も違うリーダー達と志を同じくし、一心に目標に向かって過ごす四日間。この経験は絶対に大きな財産となります。一生教えを請いたいと思える先輩や、今後も付き合っていきたい同期や後輩に出会うことができます。

今これを読んでくださっている宗内御寺院の皆様、次世代の青年僧たちを繋がるの場へと導いていただければと存じます。

令和四年度の開催については只今企画検討中ですが、「天台青少年比叡山の集い」は決して止まることなく歩み続けます。これからも皆様のご理解とご協力、ご指導をいただきたく宜しくお願い申し上げます。

●インフォメーション

令和3年度天台仏教青年連盟 救援募金のご報告

| | |
|-----------------|------------|
| ●令和3年7月豪雨災害支援金 | 180,000円 |
| ●令和3年7月豪雨災害義援金 | 234,000円 |
| ●令和3年8月豪雨災害支援金 | 56,000円 |
| ●令和3年8月豪雨災害義援金 | 248,467円 |
| ●令和3年7月・8月豪雨支援金 | 644,503円 |
| ●連盟救援基金 | 390,000円 |
| 合計 | 1,752,970円 |

【令和3年度 連盟支援団体】
連盟救援基金より下記の5団体に支援金各5万円を送付いたします。

- ①PMJパンチャメツタ
- ②タイ プラティープ財団
- ③一隅を照らす運動総本部
- ④ユニセフ
- ⑤日本赤十字社

令和3年度天台仏教青年連盟 災害支援先のご報告

| | |
|-------------------|------------|
| ●令和3年7月豪雨災害義援金 | 594,000円 |
| ●九州西地区8月豪雨支援金 | 50,000円 |
| ●令和3年台風9号等災害義援金 | 100,000円 |
| ●令和3年8月豪雨災害義援金 | 618,970円 |
| ●令和3年長野県茅野市土石流義援金 | 100,000円 |
| ●ハイチ地震救援金 | 50,000円 |
| 合計 | 1,512,970円 |

ご協力いただきました各仏青様に心より感謝申し上げますと、引き続きのご支援ご協力を宜しくお願いいたします。

〈救援委員会〉

※記載の募金額は令和4年1月1日現在です。

令和4年度 天台仏教青年連盟全国大会 東海結集

日程: 令和4年10月7日(金)
※一日開催と致します
会場: 覚王山日泰寺
(名古屋市千種区法王町1-1)
内容: 詳細未定

令和4年度東海結集は、覚王山日泰寺にて開催致します。当寺は、タイ国より拝受した釈尊の御真骨を奉安する超宗派の寺院です。お釈迦様の御前にて、今一度原点に立ち返り、志を新たにすると致したく、計画しております。

内容につきましては、新型コロナウイルス感染状況を注視しつつ判断せざるを得なく、追ってのご案内とさせていただきますので、ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

まだ先の見えない状況ではございますが、できる限り有意義な結集にすべく、会員一同取り組んでおります。

皆様のご参加をお待ちしております。
〈東海天台仏教青年会〉

※内容につきましては変更となる場合もございます。



株式会社 **むりかみ**
〒591-8022
大阪府堺市北区金岡町 3001-1-25
電話 (072) 258-0122
FAX (072) 255-4709

空風火水地

品質第一をテーマに、自然と調和を大切にした製品作りに励んでまいります。

営業品目 卒塔婆 角塔婆 縁木塔婆 ゴマ札 各種特すあり



塔婆製造販売
(株)協和木工所
東京都西多摩郡日の出町平井1316
TEL. 0425-97-0732
FAX. 0425-97-1816

お香 **みつり苑**

☎ 520-0524
滋賀県大津市和邇今宿 384-3
電話 077-594-1845
FAX 077-594-2151

天台仏教青年連盟 協賛金協力者御芳名 (敬称略)

皆様の絶大なる御支援に心より御礼申し上げます



| | | | | | | | | |
|--------------------------|---------------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-------|
| 延暦寺執行 水尾 寂芳 | 一隅を照らす運動 総本部長 竹内 純照 | 社会部長 柴田 真成 | 教学部長 岩田 真亮 | 財務部長 船戸 俊宏 | 法人部長 甘井 亮淳 | 総務部長 小林 祖承 | 天台宗宗務総長 阿部 昌宏 | 天台宗務庁 |
| 四国教区 大通寺 大西 栄光 | 岡山教区 千光寺 葉上 観行 | 兵庫教区 八葉寺 國岡 恵心 | 近畿教区 本山寺 百濟 寂仁 | 京都教区 護浄院 松景 崇誓 | 滋賀教区 眞迎寺 辻井 芳道 | 延暦寺一山 行光坊 横山 照泰 | 宗議会議員 (寺籍簿順) | |
| 群馬教区 常圓寺 綾小路 乗俊 | 埼玉教区 福正寺 大澤 貫秀 | 南総教区 観明寺 細野 舜海 | 北総教区 永命寺 玉田 法信 | 東京教区 寶泉寺 濱田 智純 | 東京教区 寶泉寺 大塚 亮英 | 神奈川教区 遍照寺 坂本 圭司 | 信越教区 光前寺 吉澤 道人 | |
| 教区宗務所長 (寺籍簿順) 入 亮純 | 山形教区 金剛樹院 島津 玄真 | 陸奥教区 観音寺 鮎貝 宗城 | 福島教区 永藏寺 中村 周常 | 栃木教区 圓林寺 柳澤 最伸 | 栃木教区 實教院 鈴木 常元 | 茨城教区 如意輪寺 寺門 俊明 | 群馬教区 満勝寺 原 徳明 | |
| 信越教区 長岳寺 入 亮純 | 東海教区 瀧山寺 山田 亮盛 | 九州西教区 安福寺 嘉瀬 慶文 | 四国教区 長尾寺 木村 俊雅 | 山陰教区 座光寺 中村 満直 | 兵庫教区 白毫寺 荒樋 勝善 | 京都教区 高正寺 若林 節哉 | 滋賀教区 泉福寺 安藏 玄周 | |
| 栃木教区 全水寺 村田 庸田 | 茨城教区 薬王院 中村 純亮 | 群馬教区 長福寺 三浦 祐俊 | 埼玉教区 福正寺 木本 清玄 | 南総教区 能満寺 高橋 隆叡 | 北総教区 大乘寺 弘海 高顯 | 東京教区 寶塔寺 林 觀照 | 神奈川教区 寶塔寺 榎本 昇道 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--|---------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------|---------------------|---------|---------------------|---------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------|--------------------|-------------------|----------|
| 九州西教区 長壽寺 角本尚雄 | 岡山教区 圓珠院 粒田宏善 | 近畿教区 神峯山寺 近藤眞道 | 延暦寺一山 止観院 小林祖承 | 宗内御寺院・団体 (寺籍簿順) 5口以上ご協賛の方 京戸慈仁 | 玄清(統管) 成就院 梶谷隆幸 | 陸奥教区 満福寺 千葉亮賢 | 福島教区 西藏寺 横山大哲 | | | | | | | | | | | | | | |
| 東京教区 浄名院 佐藤良和 | 東京教区 真如院 大多喜義慶 | 東京教区 津梁院 長澤徳栄 | 東京教区 龍眼寺 市原孝信 | 東京教区 西光寺 伊藤賢映 | 東京教区 延命寺 宮崎光通 | 神奈川教区 天王院 生方常明 | 東海教区 大黒寺 藤井圓隆 | | | | | | | | | | | | | | |
| 群馬教区 眞光寺 都筑玄澄 | 南総教区 笠森寺 小川長圓 | 北総教区 泉養寺 菊池暁昇 | 東京教区 眞覺寺 梅井秀澄 | 東京教区 寶積寺 渡邊秋昌 | 東京教区 徳藏寺 加藤邦宣 | 東京教区 観音寺 本多賢眞 | 東京教区 圓乗寺 市原孝信 | | | | | | | | | | | | | | |
| 陸奥教区 39 法泉寺 信越教区 45 光明寺 三岐教区 6 延命寺 山陰教区 23 智積寺 山陰教区 19 三佛寺 山陰教区 18 輪光院 | 陸奥教区 西光寺 太田義法 | 福島教区 西方寺 小笠原一教 | 茨城教区 來迎院 深谷尚永 | 群馬教区 安養院 市川祐純 | 群馬教区 圓勝寺 布施祐恵 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 担当役員 飯沼康祐 | 担当役員 木本崇悟 | 担当役員 永田照心 | 担当役員 林廣怜 | 担当役員 田中晃生 | 担当役員 熊澤芳心 | 担当役員 瀧本浩慈 | 担当役員 高橋文英 | 委員 樋口亮全 | 副委員長 高橋文英 | 布教広報委員会 | 會計監査 中里正敬 | 會計監査 木本崇悟 | 事務局次長・渉外 清原要田 | 事務局次長・法務 山口弘湛 | 事務局次長・会計 飯沼康祐 | 事務局次長・庶務 清水信秀 | 事務局次長・庶務 山崎圓宗 | 副代表 杉谷義恭 | 副代表 甲斐健盛 | 代表 角本尚隆 | 天台仏教青年連盟 |

誤記等がございましたらご容赦くださいますようお願い申し上げます。令和4年1月31日現在、ご協賛頂きました方を掲載しております。

| | | |
|--|--|--|
| <p>法衣・稚児貸衣装・仏具莊嚴品 贈答記念品・授与品</p> <p>株式会社 鈴木法衣店</p> <p>全国共通フリーダイヤル 0120-55-0369</p> <p>東京店 〒110-0015 東京都台東区東上野6丁目8番8号</p> <p>東京店直通 FAX番号 0120-447-560</p> <p>埼玉店 〒345-0047 北葛飾郡杉戸町高野台東1丁目15-7</p> <p>埼玉店直通 FAX番号 0120-66-5966</p> <p>ホームページ http://www.suzukihouten.jp</p> | <p>お客さまと共に創る <i>Color with Color.</i></p> <p>広告と販促の クリエイティブ パートナー</p> <p></p> <p> COLOR 福島カラー印刷株式会社</p> <p>TEL.024-594-2188 〒960-2101 福島市さくら3丁目2-7</p> | <p></p> <p>THE WESTIN MIYAKO KYOTO</p> <p>〒605-0052 京都市東山区粟田口華頂町1(三条ヶあび) Tel.075-771-7111 www.miyakohotels.ne.jp westinkyoto</p> |
|--|--|--|

令和三年度 常任委員会 委員長報告



— 担当 —
本山・京都・岡山
東海・信越・北総

結集研修委員会

委員長(本山) 山本賢潤

この度、天台仏教青年連盟創立五十周年中央結集を講演の部と法要の部と分けての開催にご協力とご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

本年は、いうまでもなく伝教大師一二〇〇年大遠忌の祥当年・仏青にあたっては、五十周年を迎える節目の年・日本中が災禍に遭遇する新型コロナ禍など、いつも以上に、結集開催に向けて連盟役員の皆様と相談を重ね苦慮しましたが、これもご縁によるものであります。非常に勉強させていただきましたこと感謝申し上げます。

今後の結集については、来年、東海仏青様、再来年、信越仏青様と続いてまいります。それ以外に、結集委員会としてリモート研修会の実施に取り組み、研鑽に勤められる機会を増やしていきたいと存じます。

大きな「ご縁」をいただき、その「ご縁」をさらに大きな輪に広がっていく、仏青の諸活動が円成できるように、努めて参りますので、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



— 担当 —
近畿・兵庫・九州西・三岐
南総・栃木・福島

救援委員会

委員長(福島) 矢島義浩

救援委員会報告の冒頭にあたり、大雨災害等により被災された皆様へお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

また、各教区仏青の皆様にはコロナ禍により鉢鉢活動が困難な状況にも関わらず、大雨被害の義援金、支援金勧募の協力願ひに対しご理解と多くのご浄財のご協力を頂き、誠にありがとうございます。

救援委員会は、地球救援募金活動、各支援団体への支援実施、災害発災時の各教区仏青への募金協力依頼、被災地への支援金、義援金の送付、現地支援活動等を主な活動としております。

本年度は、コロナ禍により代議員会等での募金活動や災害被災地での支援活動等を行うことができませんでしたが、各教区仏青会員寺院に募金箱を設置しての募金活動、被災地支援先の選定、義援金、支援金の送付、支援団体の選定と支援金額の検討等を行いました。

近年、甚大な被害をもたらす自然災害が毎年のように発生しております。非常事態に備え会員の皆様が速やかに支援活動を行えるように体制を整えていきたいと考えております。今後ともご理解、ご協力をお願い申し上げます。



— 担当 —
山陰・北陸・東京
陸奥・山形・北海道

情報通信委員会

委員長(東京) 大野豪祐

情報通信委員会では、ウェブメディアを利用して天台仏青連盟の活動報告や情報発信を行っております。基本的な情報はホームページに掲載しており、加えて近年はSNSのアカウントを作成して行事報告の発信に活用しています。

まずホームページについてですが、現在天台仏青連盟のホームページは令和以降にリニューアルされたホームページと、それ以前に運営されていた旧ホームページの二種類が存在しています。将来的には新しいホームページにすべてのデータを移行したいと考えており、作業を進めています。

次にSNSについてですが、これまでフェイスブックとインスタグラムを利用して活動報告を行ってきました。それに加えて今年度からは多くの人が利用しているLINEの公式アカウントを作成し、記事の投稿を始めました。

今後とも状況を見ながら、活動記事の作成やSNSを利用した情報発信を続けてゆきたいと考えています。



— 担当 —
滋賀・四国・九州東
神奈川・埼玉・群馬・茨城

布教広報委員会

委員長(神奈川) 樋口亮全

今年度も布教広報委員会では、新型コロナウイルス感染症拡大、緊急事態宣言発令などのため、対面での会議が叶わず、Zoomでのリモート会議を開催致しました。

顔を合わせての会議や作業が出ない中、サポートして下さった委員の方々、また本誌へご寄稿下さった皆様に心より御礼申し上げます。

昨年はコロナ禍ではありましたが、延期されていた天台仏教青年連盟創立五十周年記念全国大会中央結集が、十月二十六日・講演の部、十一月十一日・法要の部の二部制で行われ、当紙面でも大きく掲載することが出来ました。

今後とも行事や法要などが少しずつ出来るようになり、また当会報誌でご紹介ご報告が出来れば嬉しく思います。

最後になりますが、今後もより良い紙面作成のため、皆様方のご理解ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

編集後記

昨年十一月に開催された天台仏教青年連盟創立五十周年記念全国大会中央結集が成功裏に終わったことは今後の仏青活動への明るい兆しになったのではないのでしょうか。

そんな中央結集で心に残った言葉をご紹介いたします。妙法院門跡の杉谷義純門主からいただいた祝辞に出てきた「不易流行」という言葉です。本質を忘れないなかにも流行を取り入れるという松尾芭蕉の言葉ですが、これからは時代の要望に応じて今までになかった活動や事業が登場すると思われまふ。そんな時には必ず賛否両論が巻き起こりますが、その根底には伝教大師のお志がなければならぬと感じた次第です。

テレビCMで女将さんが「そこに愛はあるんか?」と言っていますが、我々は常に伝教大師から「そこに我が志はあるんか?」と問いただされていると肝に銘じて、次の五十年の礎を築かなければなりません。努めましょう。

布教広報副委員長

(九州東)高橋文英

謹んで天台座主 森川宏映 祝下ののご冥福をお祈り申し上げます。